

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2020年1月14日

【四半期会計期間】 第40期第1四半期(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

【会社名】 株式会社AFC - HDアムスライフサイエンス

【英訳名】 AFC - HD AMS Life Science Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 浅山 雄彦

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市駿河区豊田三丁目6番36号

【電話番号】 054-281-0585(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部管掌 田村 茂樹

【最寄りの連絡場所】 静岡県静岡市駿河区豊田三丁目6番36号

【電話番号】 054-281-5238(直通)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部管掌 田村 茂樹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第1四半期 連結累計期間	第40期 第1四半期 連結累計期間	第39期
会計期間	自 2018年9月1日 至 2018年11月30日	自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	自 2018年9月1日 至 2019年8月31日
売上高 (千円)	4,261,072	3,853,156	16,252,889
経常利益 (千円)	353,599	260,409	1,014,876
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	227,110	161,404	783,292
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	233,135	187,181	738,136
純資産額 (千円)	9,745,484	10,086,072	10,109,847
総資産額 (千円)	18,283,222	18,680,450	18,327,080
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	16.15	11.48	55.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.3	54.0	55.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の貿易摩擦や中国経済の成長鈍化など海外情勢に不透明感が漂っているものの、企業収益は高水準を維持し、雇用・所得環境は継続的な改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループが属する健康食品市場は、インバウンド消費の失速や自然災害などの影響により軟調となったものの、近年、主力ユーザーである中高年齢層に加え、引き締まった身体づくりやスポーツのパフォーマンス向上などを目的として、若年層における需要が続いております。

このような状況の下当社グループでは、美容商材の伸長により海外部門の売上高が前年同期比2桁増となったものの、前年同期に好調であった乳酸菌・酵母関連商品の受注減少によりOEM部門が減収となり、当第1四半期の連結売上高は3,853百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は261百万円（同21.0%減）、経常利益は260百万円（同26.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は161百万円（同28.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（ヘルスケア事業）

・OEM部門

当社グループの基幹事業である当部門は、前期に続き機能性表示食品届出のサポートを強化いたしました。また、ドラッグストア向けの定番商材が好調を維持いたしました。一方、前年同期に好調であった乳酸菌・酵母関連商品の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、既存顧客において受注が安定的に推移したことに加え、インドネシアの顧客において美容商材が伸長いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期比2桁増となりました。

・通信販売部門

定番人気商品『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』をはじめ、“爽快柑シリーズ”を商材とした記事広告などの新聞広告投下により新規顧客の獲得が順調に推移したほか、同シリーズの受注が伸長いたしました。しかしながら、結婚、出産、子育て世代に向けた“miteteシリーズ”の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高は前年同期並みとなりました。

・卸販売部門

販路拡大及び販売強化を目的として積極的に展示会や販売会へ出展いたしました。前期に続き、海外販売を行う国内事業者から『ナットウキナーゼ』の受注が伸長したほか、主力商品“ハートフルシリーズ”などが安定的に推移いたしました。しかしながら、販売促進活動が不足し“miteteシリーズ”が苦戦したことにより、当部門の売上高は前年同期並みとなりました。

・店舗販売部門

2019年9月に人気商材『ラ・ヴィ・プラセンタ』のパッケージをリニューアルし、販売を強化したことにより、同商品が好調な売れ行きとなりました。また、機能性表示食品『RICHルテイン25』が市場ニーズに合致し、好調を維持いたしました。その結果、既存店ベースでは前年同期の売上高を上回ったものの、店舗数の減少による影響を補い切れず、当部門の全体の売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高3,520百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益388百万円（前年同期比13.7%減）（全社費用調整前）となりました。

（医薬品事業）

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアやインターネットで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、医療用ジェネリック医薬品である『ピムロ顆粒』が順調に売上を伸ばしました。また、『シルデナフィル錠』（勃起改善薬）、『フィナステリド錠』（AGA治療薬）につきましても、重点販売商品として営業を強化したことが奏功し、売上拡大に繋がりました。

一般用医薬品につきましては、医薬品のインターネット販売が解禁され5年が経過し、漢方薬のPB受注が増加いたしました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が332百万円（前年同期比5.5%増）となったものの、増加したジェネリック医薬品製造設備の減価償却費などを賄いきれず、営業損失7百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

財政状態

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ245百万円増加し、9,875百万円となりました。この増加要因は主として、受取手形及び売掛金が60百万円減少した反面、商品及び製品が148百万円、原材料及び貯蔵品が89百万円、現金及び預金が89百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ107百万円増加し、8,804百万円となりました。この増加要因は主として、投資その他の資産のその他が85百万円、無形固定資産のその他が49百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ399百万円増加し、7,295百万円となりました。この増加要因は主として、未払法人税等が131百万円減少した反面、支払手形及び買掛金が319百万円、流動負債のその他が187百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、1,298百万円となりました。この減少要因は主として、返済により長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、10,086百万円となりました。この減少要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、前期末の配当により利益剰余金が49百万円減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は40,917千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,576,000
計	30,576,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,144,720	14,144,720	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	14,144,720	14,144,720		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月1日～ 2019年11月30日		14,144,720		2,131,839		2,209,025

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 80,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,062,400	140,624	
単元未満株式	普通株式 1,420		
発行済株式総数	14,144,720		
総株主の議決権		140,624	

【自己株式等】

2019年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社AFC - HD アムスライフサイエンス	静岡県静岡市駿河区 豊田三丁目6番36号	80,900		80,900	0.57
計		80,900		80,900	0.57

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年9月1日から2019年11月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年9月1日から2019年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437,201	4,526,445
受取手形及び売掛金	² 2,163,999	² 2,103,608
商品及び製品	1,088,030	1,236,227
仕掛品	819,215	875,676
原材料及び貯蔵品	916,063	1,006,001
その他	236,960	179,233
貸倒引当金	31,920	51,689
流動資産合計	9,629,550	9,875,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,853,907	2,818,707
土地	3,895,432	3,895,432
その他(純額)	1,107,052	1,121,532
有形固定資産合計	7,856,393	7,835,673
無形固定資産		
のれん	1,020	765
その他	147,596	196,794
無形固定資産合計	148,617	197,560
投資その他の資産		
その他	714,083	799,271
貸倒引当金	21,563	27,558
投資その他の資産合計	692,520	771,712
固定資産合計	8,697,530	8,804,946
資産合計	18,327,080	18,680,450
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 1,814,273	² 2,134,064
短期借入金	3,593,459	3,584,891
未払法人税等	245,855	114,848
賞与引当金	171,000	201,271
ポイント引当金	19,137	20,645
その他	² 1,052,474	² 1,239,696
流動負債合計	6,896,200	7,295,416
固定負債		
長期借入金	485,802	459,933
役員退職慰労引当金	180,858	184,973
退職給付に係る負債	425,693	436,723
負ののれん	1,126	985
その他	227,552	216,344
固定負債合計	1,321,033	1,298,960
負債合計	8,217,233	8,594,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	5,913,891	5,864,339
自己株式	59,284	59,284
株主資本合計	10,182,327	10,132,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,431	43,198
為替換算調整勘定	5,048	3,504
その他の包括利益累計額合計	72,479	46,702
純資産合計	10,109,847	10,086,072
負債純資産合計	18,327,080	18,680,450

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	4,261,072	3,853,156
売上原価	3,050,768	2,696,309
売上総利益	1,210,303	1,156,847
販売費及び一般管理費	879,344	895,324
営業利益	330,959	261,523
営業外収益		
受取利息	14	807
受取配当金	4,950	1,315
投資有価証券売却益	18,981	269
受取賃貸料	5,203	5,464
負ののれん償却額	140	140
その他	4,996	3,415
営業外収益合計	34,287	11,411
営業外費用		
支払利息	9,677	8,508
投資有価証券売却損	-	472
その他	1,970	3,544
営業外費用合計	11,647	12,525
経常利益	353,599	260,409
特別利益		
固定資産売却益	-	175
特別利益合計	-	175
特別損失		
固定資産除却損	0	5,235
特別損失合計	0	5,235
税金等調整前四半期純利益	353,599	255,349
法人税、住民税及び事業税	120,897	97,444
法人税等調整額	5,590	3,499
法人税等合計	126,488	93,944
四半期純利益	227,110	161,404
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,110	161,404

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	227,110	161,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,025	24,232
為替換算調整勘定	-	1,544
その他の包括利益合計	6,025	25,776
四半期包括利益	233,135	187,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,135	187,181
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形割引高

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
受取手形割引高	6,227千円	10,370千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
受取手形	25,032千円	41,325千円
支払手形	69,202千円	87,130千円
その他(設備関係支払手形)	18,872千円	5,005千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
減価償却費	111,234千円	121,663千円
のれんの償却額	114千円	114千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月27日 定時株主総会	普通株式	140,637	10	2018年8月31日	2018年11月28日	利益剰余金

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月26日 定時株主総会	普通株式	210,956	15	2019年8月31日	2019年11月27日	利益剰余金

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,945,932	315,139	4,261,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	3,945,932	315,139	4,261,072
セグメント利益又は損失()	449,755	15,037	434,718

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	434,718
全社費用(注)	103,758
四半期連結損益計算書の営業利益	330,959

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,520,687	332,469	3,853,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	3,520,687	332,469	3,853,156
セグメント利益又は損失()	388,110	7,829	380,281

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	380,281
全社費用(注)	118,757
四半期連結損益計算書の営業利益	261,523

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円15銭	11円48銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	227,110	161,404
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	227,110	161,404
普通株式の期中平均株式数(株)	14,063,751	14,063,751

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年1月10日

株式会社AFC - HDアムスライフサイエンス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	森田	健司
--------------------	-------	----	----

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	嶋田	聖
--------------------	-------	----	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社AFC - HDアムスライフサイエンスの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社AFC - HDアムスライフサイエンス及び連結子会社の2019年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。